

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月4日（水）

2 確認箇所

1 / 2号機共用排気筒北側（図1）

3 確認項目

トレンチ内溜まり水処理のための移送作業の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、福島第一原子力発電所構内の地下に埋設されているトレンチ等に雨水等が流入することにより、放射性物質を含む溜まり水^{※1}が発生していることを受け、巡視・点検を行うとともに止水対策や水抜き等の措置を講じている。当該溜まり水プロセス主建屋へ移送し、汚染水とともに浄化処理を実施してきたが、今後は、汚染水発生量を低減させるため、放射能濃度が低いもの等^{※2}については、雨水処理設備により浄化処理した後に、構内に散水する計画としている。

本日は、構内溜まり水が確認されている1号機ケーブルダクト^{※3}における移送作業の状況について確認を行った。

- ・ 1 / 2号機共用排気筒北側において地面が掘削され、ケーブルダクトに通じる貫通孔が南北方向に3箇所設置されていた。（写真1）
- ・ うち1箇所の貫通孔には、ケーブルダクト内の水を汲み上げるためのポンプ及び移送ホースが投入されていた。（写真2）
- ・ 汲み上げられた水は、貫通孔東側のノッチタンクに送られ、そこからさらに貫通孔西側のノッチタンクに移送された後、溜まり水移送用車両に積載し、雨水回収用タンクに移送される。（写真3）
- ・ 各ノッチタンクには角材を用いた堰が設けられ、また、ノッチタンク間の移送に使用される移送ホースは2重化されており、漏えい対策が実施されていた。（写真4）
- ・ 貫通孔西側に設置されたノッチタンクには、溜まり水移送用車両に接続するための接続用アダプタが袋養生され、トレイ上に仮置きされていた。（写真5）
- ・ 現地確認時、移送作業は行われていなかった。また、移送ホース及びノッチタンクからの漏えいは確認されなかった。

※1 溜まり水

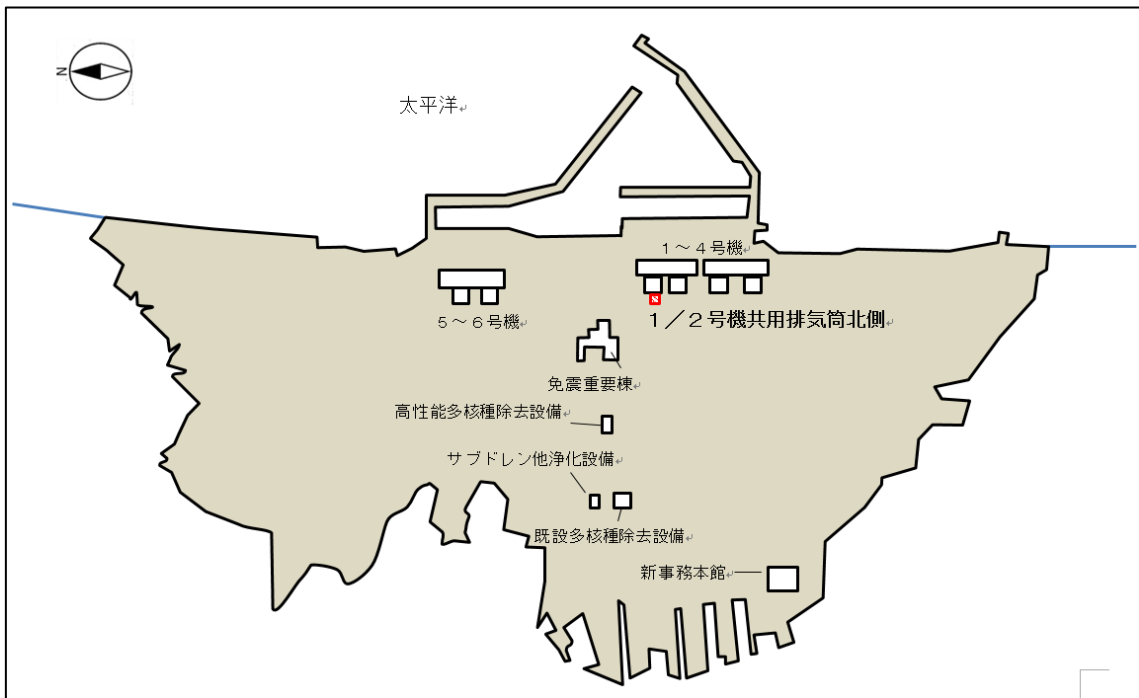
福島第一原子力発電所構内に降った雨水が地下に埋設されているダクトやトレンチ内に溜まった水

※2 放射能濃度が低いもの等

- ・1～4号機建屋滞留水由来の水ではないこと
- ・セシウム濃度が10万Bq/L未満であること

※3 1号機ケーブルダクト

電線や通信線等を収納している地下埋設されたコンクリート製の管路。1号機コントロールケーブルダクト、1号機起動用変圧器ケーブルダクト、1号機主変圧器ケーブルダクトの3つのケーブルダクトが存在している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

貫通孔の設置状況①

(北西側から撮影)



(写真1-2)
貫通孔の設置状況②
(北側から撮影)



(写真2-1)
ポンプ及び移送ホースが投入された
貫通孔の外側の状況



(写真2-1)
ポンプ及び移送ホースが投入された
貫通孔の内側の状況



(写真3-1)
貫通孔東側に設置されたノッチタンク
の状況
(北西側から撮影)



(写真3-2)
貫通孔西側に設置されたノッチタンク
の状況
(北東側から撮影)



(写真4-1)
貫通孔東側ノッチタンクに設置され
た堰の状況



(写真4-2)
貫通孔西側ノッチタンクに設置され
た堰の状況



(写真4-3)
ノッチタンク間の移送に使用される
移送ホースの2重化の状況



(写真5)

貫通孔西側ノッチタンクに設置された、溜まり水移送用車両接続用アダプタの設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。